

## 会 議 録

付 属 機 関 又 は 会 議 体 の 名 称	第5回 男女平等推進センター運営委員会		
事 務 局 ( 担 当 課 )	男女平等推進センター		
開 催 日 時	平成30年11月15日(木)	午後2時～4時	
開 催 場 所	エポック10研修室2		
出席者	委 員	岡田千枝子 鈴木順一 溝口元 阿部やよい 小吹文紀 堀江咲智子 野村祥子 鳥山慶樹 水埜多喜子	
	事務局	4名	
会 議 公 開 の 可 否	(公開)・非公開・一部公開 傍聴人 0名		
非 公 開 ・ 一 部 公 開 の 場 合 は そ の 理 由			
会 議 次 第	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員長・副委員長の選出</li> <li>2. 事業報告および今後の予定について</li> <li>3. 運営委員の欠員および次回運営委員会の日程について</li> <li>4. エポック10フェスタ2019について</li> </ol>		
審 議 経 過			
<p><b>【議題1】委員長・副委員長の選出</b></p> <p>⇒委員長は堀江委員、副委員長は野村委員に決定する。</p>			
<p><b>【議題2】事業報告および今後の予定について</b></p> <p>●事務局より、事業企画グループの事業実施報告と今後の予定を報告。</p>			
委員	重点課題について、今回の報告資料にある事業だけで全ての重点課題を網羅しており評価できる。偏りについては次回確認したい。		
委員	保育申込数と実際の保育数に差があるが、当日の保育士の数はどうなっているのか。		
事務局	保育申込数に合わせて保育士を依頼している。当日のキャンセル等に関わらず、保育申込数に応じた保育士数で保育を行っている。子ども2人に対し、保育士1人が目安となっている。イベント前日の午後5時までに保育キャンセルがあれば、保育数に応じて保育士もキャンセルしている。事前にキャンセルとなった保育申込みについては、報告資料の保育申込数の数値に入れてはいない。		
委員	保育士はどういった方を依頼しているのか。		
事務局	区で登録している方に依頼している。		
委員	保育士の報酬はいくらか。		
事務局	1.5時間2050円、3時間4050円となっている。		
委員	保育申込者について、当日キャンセルすることとなった場合連絡はあるのか。		
事務局	キャンセル連絡はある。		
委員	10月28日のイベントについて、申込よりも参加者合計が多いが、何がいったのか。		
事務局	申込をしていないけど当日参加したというケースである。		
委員	日曜日だからという理由で参加者が多かったということあるのか。		
事務局	その可能性もある。		
委員	多くの講座で募集定員に対して申込数が多いが、それはキャンセルを見込んでのことなのか。		
事務局	そのとおりである。申込者数の8割が当日の出席者数となる傾向があるため、定員より多めに受付している。		
委員	今回の事業評価においての合計募集定員は225名だが、実際の参加者は230名となっており、事業としては想定通りの集客ができており素晴らしい。また全参加者の約4分の1が保育を申込んでおり、事業開催にあたって保育が必須となっていると思う。子ども2人に1人の保育士をつけるということで、保育としてはかなり手厚くなっており、そのことをアピールして集客してもいいかもしれない。		
委員	10月28日の事業は日曜日の開催であるが、保育の申し込みはなかったのか。それとも保育なしの事業であったのか。		
事務局	保育付き講座として実施したが、実際には保育の申込がなかったということである。		

委員	10月17日の事業について、保育申込数が18名となっているが、詳細はどうなっているのか。
事務局	この講座では保育室と研修室1を使用して保育を行った。東京都との共催事業であり、保育については都が委託した業者が担当しており、保育室はもちろん研修室1についても保育環境を整えて保育を実施した。
委員	友人の話になるが、こういった講座の保育に初めて子どもを預けた際はかなり不安になったと聞いた。しかし、先ほどの話のように手厚い保育ということをさらにアピールしていくことでそういった不安も払拭され、講座に参加するきっかけとなるのではないかと思います。
委員	子どもはどれくらいの月齢の子が多いのか。そういったことは保育申込時に聞いているのか。
事務局	お子様の月齢は保育申込時に伺っている。
委員	1～2歳児を保育する場合と、3～5歳児を保育する場合とでは必要な保育士数が違う。3～5歳児の保育について、子ども2人につき1人の保育士をつけているのであれば、保育所よりもはるかに良い環境での保育となる。
事務局	ホームページ等で写真付きで保育現場の様子などを紹介し、講座の申込時にホームページのURLを伝えてみてはどうだろうか。そうすることで安心して保育に預けることができ、講座を受講できるのではないだろうか
	●事務局より、庶務・計画調整グループの事業実施報告と今後の予定を報告。
委員	前回委員会において、認定制度をさらにアピールしたほうが良いということをご提案させていただいたが、あれから何か案は出たのか。
事務局	以前の委員会で、運営委員会の展示物の中にロゴマークを入れることで企業のアピールにつながるのではないかというご意見があったが、そのことに関してはぜひ実施していきたいと考えている。現在審査期間中であるが、結果通知後に認定企業からロゴマークを収集し、運営委員会の展示物の中に盛り込んでいくことを予定している。
委員	区内企業実態調査について、区内企業は何社あるのか。
事務局	事業数では19,000ほどある。本調査で対象としているのは、区内にある本社・本店、単独事業所であり、従業員数が10名以上の企業のみとしている。その条件で抽出すると対象企業が2500社程度になるが、そのうちの1500社を対象に調査を行っている。
委員	1500社というのは予算の問題なのか。
事務局	統計的観点から1500社としている。1500社は無作為に抽出している。
委員	いつごろから調査を行っているか。
事務局	10月23日から調査を行っている。またこの調査は第1回目を5年前に行っており、今回で2回目となる。
委員	今後も5年ごとに行っていくのか。
事務局	プランの中で評価指標として設けられており、今後も5年ごとに行っていく予定である。
委員	調査の回答率はどれくらいを見込んでいるのか。
事務局	目安として、だいたい10～20%を見込んでいる。回答数でいうと150～300件である。
委員	この調査は郵送で行っているのか。
事務局	郵送で行っている。
委員	郵送だと良くて30%程度である。手渡しで行えばもっと回答率は上がる。
事務局	前回調査は同様の方法で20%強の回答数であった。今回も同程度の回答数を見込んでおり十分なサンプル数が集まるだろうと考えている。
委員	調査項目は前回と比較できるものであるのか。
事務局	調査項目については、経年比較できるものは残し、今回新たに追加した項目もある。
委員	調査主体名は何か。
事務局	男女平等推進センターである。
委員	結果はいつ出るのか。
事務局	資料に記載のとおりであるが、12月～1月に調査結果分析・報告書を作成する予定であり、その後3月の推進会議・女性活躍推進協議会で報告した後、運営委員会で報告する予定である。
	●事務局より、相談グループの事業実施報告と今後の予定を報告。
委員	エポック10の事業について、ホームページやTwitterなど広報媒体はいくつかあり開催の周知は行っているが、開催実績はほとんど掲載されていない。開催報告があってもいいと思う。開催報告を見た方が、今後のエポック10の講座に参加してくれる可能性が高まると思う。
委員	各施設に設置している相談カードの減り状況はどの程度なのか。
事務局	区役所のトイレや医療機関、薬局で設置しているが、残部がなくなったら随時連絡をいただき、補充を行っている。ただ、そのカードを見て直接相談につながるケースはあまりない。

委員	相談のきっかけとしては何が多いのか。
事務局	ホームページが多い。
委員	現在豊島区ではパートナーシップ制度が検討されているが、LGBTに関する専門的な相談員を設けるといったような予定はあるのか。
事務局	制度創設後の事に関してはまだ検討しきれていない。ただ、制度をつくることだけでは不十分であると思っており、この先相談窓口の充実を図っていく必要はあると認識している。来年度以降、予算の面も考慮しつつ検討を行っていく。
委員	相談カードを各所に設置するという取組みは素晴らしいと思う。広く周知を行うことで、潜在意識の中にそういった相談窓口があることを知っているからこそ、ホームページで調べて実際に窓口にとどり着くケースもあるかと思う。こういった取組みは複合的に作用して効果が出るため、ぜひ続けていってほしい。
委員	相談カードの内容について、より良いものにすることができると思う。カードの内容を、見た方の背中を押すような呼び掛け文にしたいと思う。
委員	男女共同参画に関して、国が決めている運動やその期間などを一覧にしてカレンダーやスケジュール表などの資料として出していただきたい。
委員	11月に、皇居ランナーがパープルリボンにちなんだTシャツを着て走るというイベントがあった。Tシャツは千代田区MIWが事前に配付して、当日ランナーの方に着てもらおうというものだった。このイベントのようにみんなが発信できるイベントは、知ってもらうきっかけになる大きな機会でもあるため、素晴らしいと思った。
委員	女性に対する暴力防止運動について、資料にあるとおりさまざまな取組を行い周知を行っているが、ふくろうのえんちゃんのたすき掛けというのは、毎年行っているのか。
事務局	毎年行っているものである。
委員	イケビズの正面玄関に大きなパープルリボンを置き、周知を行うのはどうか。見た方は「何だろう？」と疑問に思い、知っていただくきっかけの一つになる。たすき掛けや福祉バスのラッピング、ティッシュの配付などについては、Twitterに挙げていただくといいと思う。
委員	来年の女性に対する暴力防止運動について、取組内容を決めるのはいつごろなのか。
事務局	来年の夏あたりだと思う。
委員	それではまた、そのあたりの時期になったら再度運営委員会で検討し、周知方法について考えていけたらいいと思う。その他の事業についても、実施報告時に意見を出すのでは遅いので、内容検討の段階で、運営委員会で検討する時期を設けられるように工夫や調整をお願いしたい。

### 【議題3】運営委員の欠員および次回運営委員会の日程について

- 事務局より、第26期委員より辞退があったこと、またそれに伴う補欠委員についての報告。

### 【議題4】エポック10フェスタ2019について

委員	プレフェスタの展示において、展示を解説する説明員を置いてみてはどうか。
委員	イベントとして枠が必要かどうかというより、展示スペースを広めにとっておくことで対応できる。
委員	生活者ネットの男女共同参画ランキングで豊島区が1位になったので、それにまつわる展示をやってもいいのではないかと。例えば生活者ネットの方を招き、調査に関する説明を行ってもいいかもしれない。
委員	説明だけだと集客が見込めないため、クイズなどのように参加型の楽しいイベントにしたい。
委員	展示を使った催しを行うのであれば、イベントスペースではなく、展示スペースを広めにとってもらえるのが良いのではないかと。
委員	グループワークのようなものをやりたいと思っている。
結論	⇒運営委員会として、フェスタ当日にイベントを実施しないこととする。プレフェスタでは展示のみを行う。イベントスペースは希望しないが、簡単な催しを実施する可能性があるため、展示スペースを広めに確保したい。  ⇒運営委員会からフェスタ実行委員会に出席する委員は、水埜委員と鳥山委員に決定する。 ⇒催しの詳細は次回運営委員会で決定する。 ⇒運営委員会として挙げるメインイベント案については、事務局あてに個別に連絡いただいたものすべてをメインイベント案の候補として挙げていく。

会議結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会の委員長、副委員長を決定した。</li> <li>・エポック10で開催済みの事業および今後の予定を報告し、課題の検討を行った。</li> <li>・エポック10フェスタ2019の参加形式について検討・決定を行った。</li> </ul>
提出資料	資料1 事業報告、今後の予定 資料2 第1回エポック10フェスタ2019実行委員会報告書
配付物	なし